

総額 414億 1,600万円

新年度予算は3月3日に開会した市議会定例会議に上程、26日に各上程議案が可決されました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、160億300万円となっており、前年度当初予算169億2,300万円に比べ、5.4%減(9億2,000万円減)となっています。

令和2年度から会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、人件費が約5億3,575万円の増額となる一方、少子高齢化に伴う社会保障関連経費などの財政需要に対応するため、施策の「選択と集中」を行い、普通建設事業費をはじめとするすべての費用の見直しにより、前年度と比較し予算額が減少しました。

新年度の主な事業は、防災・減災対策として、南海トラフ地震臨時情報に対応する防災対応方針の策定などを行います。子育て支援対策では、幼稚園、保育所、認定こども園に通う3歳から5歳までの本市に在住する全ての子どもたちの副食費無償化を引き続き実施します。学校教育の充実策では、授業内容をより分かりやすく伝え、子どもたちの興味・関心を高められるよう、市内2中学校に大型(65型)電子黒板を導入します。公共施設の整備に関しては、老朽化している小松島厚生福祉解放センターの内外装改修等工事を行います。また、地方創生に関するものとして、来る令和3年6月1日の市制施行70周年に向け、小松島70年のあゆみ編集事業を実施し、ふるさと小松島を未来に継承する取組を推進します。

今後の中期的な財政見直しは、公共施設や公共インフラの老朽化に対応するための大型建設事業が見込まれるなど、引

【教育の充実と文化の振興】

部活動指導員配置事業、自炊炊飯導入事業、外国語指導助手招致事業など。

【産業の振興とブランド産品育成】

強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業、雇用創出事業、小松島市ふるさと応援寄附金事業など。

【観光交流によるにぎわい創出】

移住定住促進事業、観光・イベント振興事業など。

【市民参画と協働の推進】

広報広聴推進事業、議会だより作成事業など。

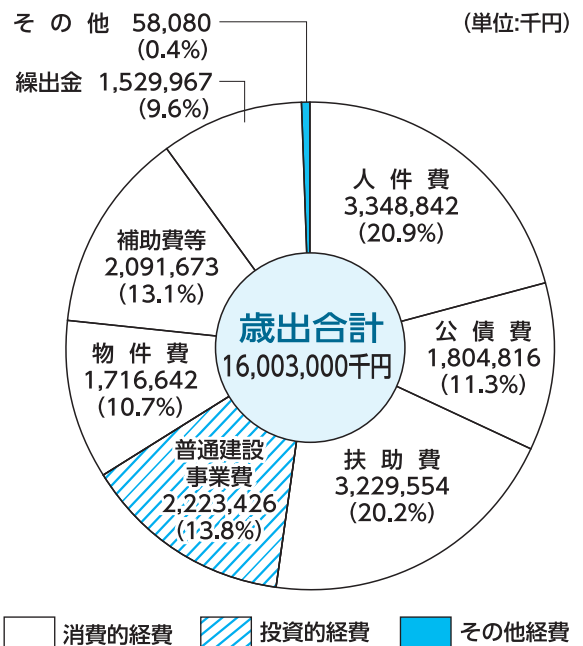
【人口減少社会における行政運営】

国勢調査事業、個別施設計画策定支援事業など。

主な普通建設事業は次のとおりです (百万円未満は四捨五入)

☆都市基盤整備事業	3億5,000万円
☆消防施設整備事業	2,900万円
☆公営住宅整備事業	5,300万円
☆庁舎・福祉施設整備事業	5,700万円
☆文教施設整備事業	2億2,100万円
☆農林水産事業	6億3,300万円
☆道路・河川整備事業	6億4,400万円
☆環境衛生整備事業	2億3,800万円

一般会計歳出(性質別)の状況



特別会計予算

【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。3年に1度開催される「西日本カップ」の売上げや新年度からの走路等の改修などにより前年度から20億円の増額となっています。

【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比0.6%の減となっています。

【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合へ納付金を支出します。前年度比3.9%の増となっています。

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比23.2%の減となっています。

特別会計名	予算額(千円)
競輪事業	14,000,000
後期高齢者医療	610,858
住宅新築資金等貸付事業	160,430
国民健康保険	4,542,803
土地取得事業	16,100
介護保険	3,835,885